



えきや



— 自分で考えて行動する — 第11号

音楽発表会をご鑑賞いただきありがとうございました

11月8日は、駅家小学校の音楽発表会をご鑑賞いただき誠にありがとうございました。

音楽発表会のテーマ「We can make it! 2025 ~心を一つに感動のメロディーをとどけよう~」のもと、子どもたち一人一人がそれぞれのめあてに向かって学び合っていました。本番では、その成果を存分に発揮できたと思います。



子どもたち一人一人が表現する音は違っていても、その役割をしっかりと果たすことで、音楽全体のハーモニーをみんなでつくりあげることができました。これは、学級や学年での生活でもそうです。子どもたち一人一人は違いますが、その一人一人がクラス全体、学年全体をつくっている大切な存在です。「音楽」は、そのことを改めて教えてくれたのではないのでしょうか。

この音楽発表会を通して、きっと子どもたち一人一人に素敵な成長ができたことと思います。ご多用の中、音楽発表会をご鑑賞いただき、誠にありがとうございました。

成長と経験 ~トラブルを糧に~

さて、770名の子どもたちが一緒に過ごす普通の学校生活の中では、楽しいこともたくさんありますが、様々なトラブルも当然ながら起こります。では、トラブルを起こしてしまうこどもは悪いこどもなののでしょうか。もちろん、決してそのようなことはありません。どのような言葉や行いが善いのかを分かっていることと実践できることとの間には、非常に大きなギャップがあるのです。



1年生も6年生も「分かっている」に関しては大きな違いはありません。しかしそれを「実践する」には1年生と6年生には大きな差があります。なぜなのか。それは心身の成長に加えて、これまでにどれだけの葛藤と経験を経てきたかが大きいと考えられます。1回の経験や指導でできるようになるこどもは、まずいません。

ご家庭でも「この間も言ったでしょ」「何度言ったら分かるの」など、思ったり言ったりした経験を誰しもお持ちのことと思います。それがいつの間にか「あれ？ できるようになってる」「あ、変わったな、成長したな」と思う瞬間が訪れます。それは、何か特別な経験があったからということはありません。何かのきっかけで、それまで積み重ねてきた経験や指導の最後の1ピースがカチッとハマったにすぎません。

人が変わるには一般的に長い時間がかかります。脳の発達としては、自制心を司る前頭前野などの関連部位は10代後半の思春期に大きく発達すると言われ、それまでは衝動的な行動が多いと言われています。

小学校時代に多くのトラブルを経験することは、人の発達としてはある意味当然の事と言えます。その経験を通していかに成長していけるか…。学校では今後もトラブルを未然に防ぐ努力を続けながら、起きた際にはどうやってそのこどもの成長につなげられるかも考えて支援していきたいと考えます。学校と保護者と地域の方々とが協力体制を組み、経験を成長につなげていければと思います。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願いたします。

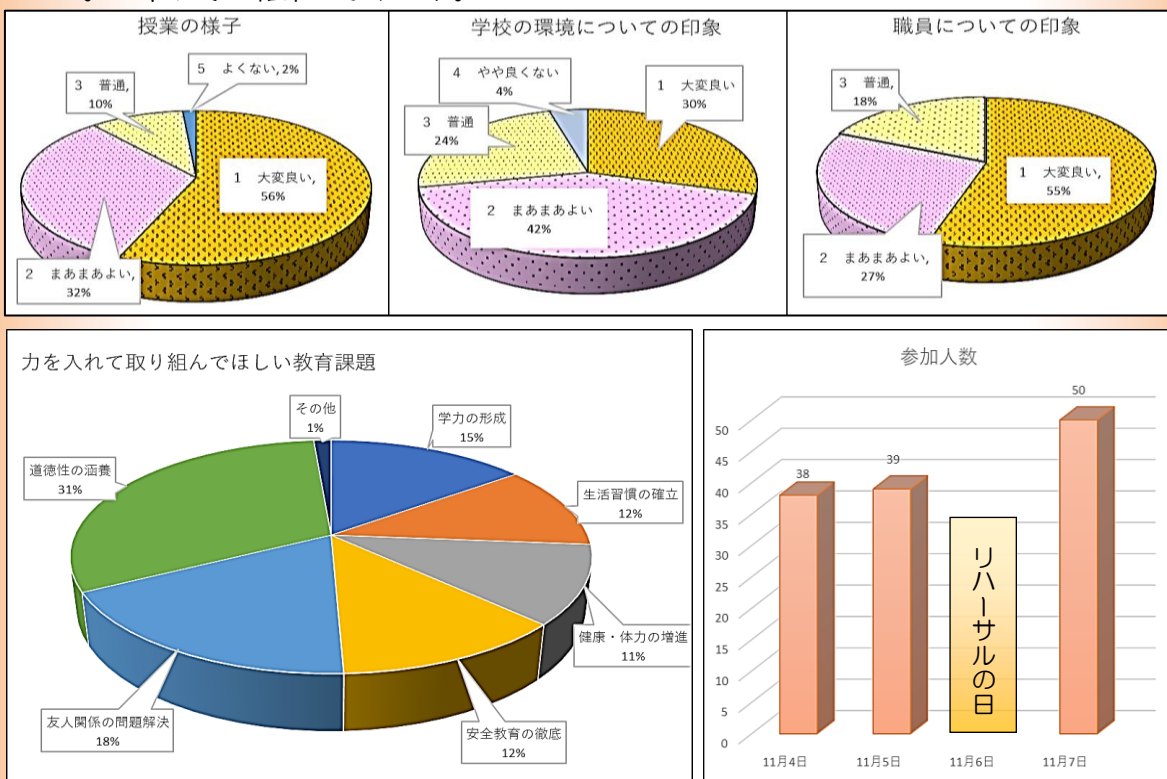
(文責 校長)

給食費の納入について（教育委員会保健課より）

次回の給食費の集金日は、11月27日（木）です。遅れないように納金してください。
※給食費は教育委員会学校保健課が集金しています。

アンケートにご協力ありがとうございました（学校へ行こう週間）

11月4日から8日までの学校へ行こう週間に127名の方にご来校いただきました。ご来校の際に、学校の様子にかかわるアンケートにご協力いただきました。授業や学校の環境、教師の様子などについて、ご感想をいただきました。以下がその結果となります。



授業については「普段の様子を見られてよかった」「みんなで話し合いをされていて授業が活発だった」「和気あいあいとして、自由に発言できていた」。学校環境については、「歴史がある中、きれいに保たれていた」「掃除がきちんとできていた」。職員については「すれ違う先生が皆さん挨拶をしてくれた」「いろいろな子どもがいる中で、めあてにそって授業を進め、クラスをまとめるのは本当に大変なことだとわかりました。いつもありがとうございます」などの意見をいただきました。また、校舎の改修の要望、落ち着いた雰囲気をもっと作ってほしいなどのご意見もいただきました。いただいた意見を参考にさせていただきます、これからもより良い教育活動をすすめてまいります。

[illegible]